

2024年1月24日
日本郵便株式会社

日本郵便における「カーボンニュートラル化」の取り組み
— 郵便局のレジリエンス強化型 ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化 —

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也／以下「日本郵便」）は、沖縄県島尻郡南風原町に建設中の那覇東郵便局において、郵便局として初となるネット・ゼロ・エネルギー・ビル化を行い、ZEB 認証[※]（Nearly ZEB）を取得しますので、お知らせします。

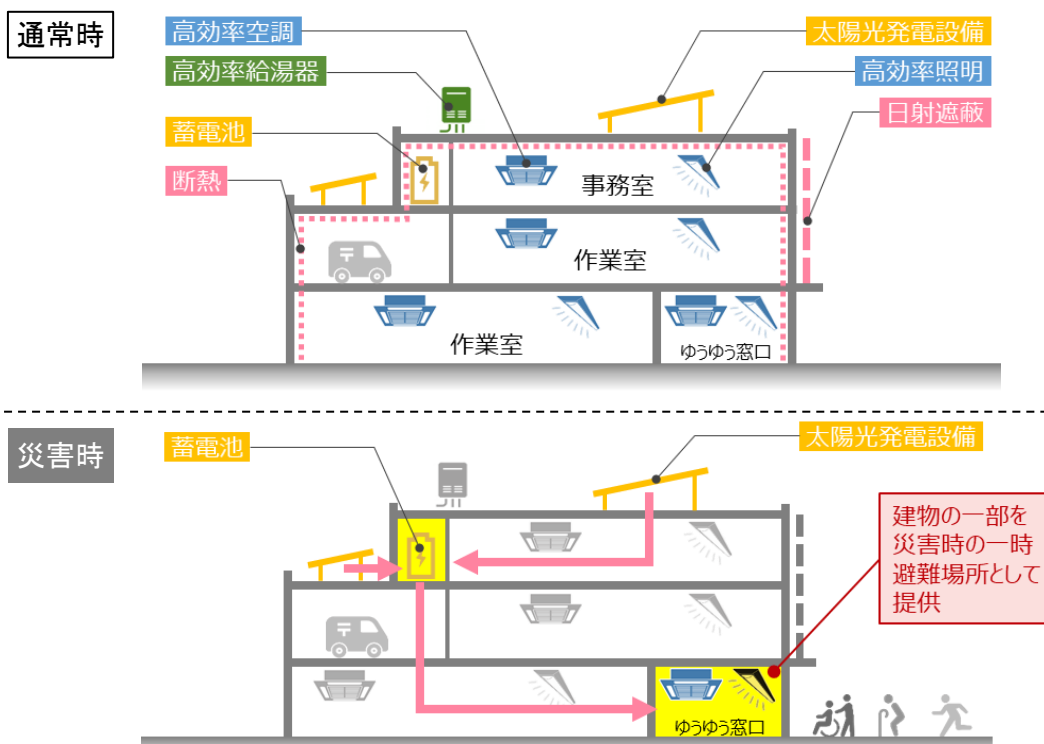
日本郵便は、『JP ビジョン 2025』の下、郵便局への充電設備や太陽光発電設備の設置や郵便局の電力の再生可能エネルギーへの切り替え、より環境に配慮した「+エコ郵便局（環境配慮型郵便局）」の開局など、郵便局ネットワークを活用したカーボンニュートラル化の推進に取り組んできました。

このたび、ZEB 認証[※]（Nearly ZEB）を取得する那覇東郵便局は、建物の断熱性能の向上と、高効率空調・高効率照明・高効率給湯器などの導入によって省エネ性能を高めるとともに、太陽光発電設備を導入することで創エネを行います。また、太陽光発電設備と蓄電池設備によってエネルギーの自立が可能のため、レジリエンス強化型 ZEB として、災害時には地域の一時避難場所としての役割も担います。

これに先立ち、日本郵便と南風原町とは、「災害発生時における南風原町と那覇東郵便局の一時避難場所に関する協定書」を締結します。災害時には南風原町からの要請により、緊急に避難を要する地域住民の方々などを一時的に受け入れることを想定しています。

日本郵便は、こうした取り組みを今後も推進し、郵便局ネットワークを活用して、2030 年度までに温室効果ガス排出量の 2019 年度比 46%削減を目指すとともに、更なる地域のカーボンニュートラル化の推進に貢献してまいります。

【那覇東郵便局の取り組み】



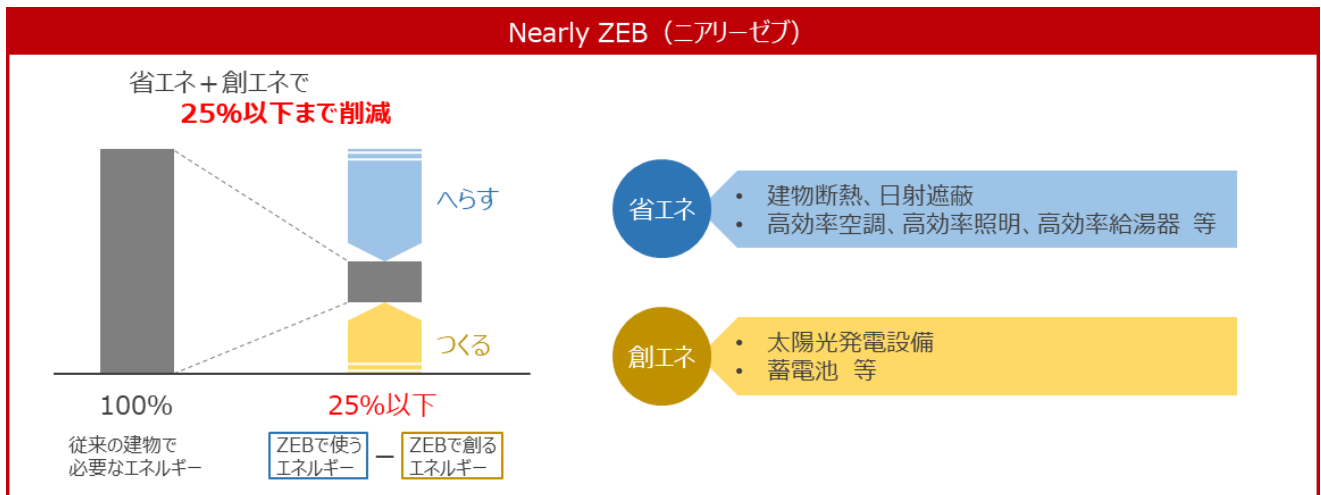
○建物完成イメージ



※ZEB 認証制度について

ZEBとは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことで、これを公的機関が認証するものです

Nearly ZEBとは、『ZEB』に限りなく近い建物として、従来の建物と比較して50%以上の省エネルギーを達成しつつ、再生可能エネルギーによる創エネによって年間の一次エネルギー消費量を25%以下とした建物のことです。



【那覇東郵便局概要】

- ・所在地：沖縄県島尻郡南風原町字新川 59-2
- ・開局予定日：2024年10月
- ・敷地面積：約2,700㎡
- ・階数：地上3階
- ・構造：RC造
- ・延床面積：約3,170㎡

以上